



DOW

®

HIGH PERFORMANCE BUILDING

TORAY

A DOW and TORAY Joint Venture

ダウ・東レ株式会社

# DOWSIL™ SE 5007シーラント 1成分形オキシムタイプ

難燃性シリコンシーリング材、防火戸用指定シーリング材

## まえがき

DOWSIL™ SE 5007シーラントは 1 成分形(オキシムタイプ)の難燃タイプのシリコンシーリング材です。

シリコンシーリング材の特長である優れた耐熱性、耐寒性、耐候性、耐久性などを保持したまま難燃性を付与してありますので、防火設備用に使用できるシーリング材です。

また、下記に示すJIS A 5758 (1992)の耐久性区分に相当します。

## 特長

- ・ 難燃性  
防火戸用指定シーリング材です。
- ・ 耐久性  
DOWSIL™ SE 5007シーラントは1成分形オキシムタイプのシーリング材で、JIS A 5758 (1992)の耐久性区分9030Gに相当します。
- ・ 耐候性  
DOWSIL™ SE 5007シーラントは耐熱性、耐寒性、耐紫外線性、耐オゾン性に優れ、日光、風雨に長時間さらされても安定した防水性能を保持します。

## 用途

- ・ 防火設備の目地シール
- ・ 防火区画の目地シール(性能認定が必要な場合があります)
- ・ 防火戸の目地シール(性能認定が必要な場合があります)
- ・ その他難燃性、耐火性の要求される目地シール(性能認定が必要な場合があります)



DOWSIL™

silicones by



## 代表特性

JIS A 5758 (1992) に準じた特性

項目		単位	DOWSIL™ SE 5007
外観		－	ペースト状
混合比		－	－
標準色		－	ホワイト, ライトグレー2, グレー, ダークブラウン, ブラック
押出し性 (5°C)		秒	8
スランプ		mm	0
汚染性		－	なし合格
耐オゾン性		－	異状なし合格
耐久性		－	9030G 合格
可使時間	5°C	時間	－
	20°C	//	－
	35°C	//	－
タックフリー	20°C		7 (分)
比重	20°C	－	1.50
加熱減量		%	4.4

## 引張接着性

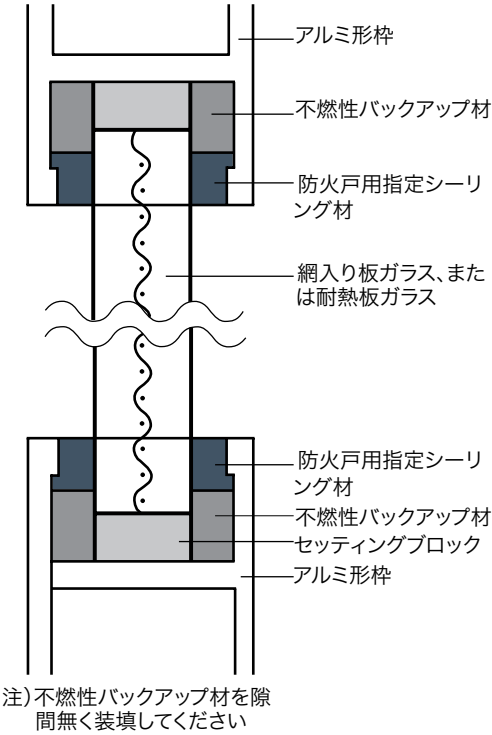
被着体: アルミ

条件	測定温度	項目	単位	DOWSIL™ SE 5007
養生後	標準 (20°C)	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	76 [7.8]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	115 [11.7]
		最大荷重時の伸び	%	150
		破壊時の伸び	%	160
	-10°C	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	78 [8.0]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	118 [12.0]
		最大荷重時の伸び	%	150
		破壊時の伸び	%	165
加熱後	標準 (20°C)	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	81 [8.3]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	109 [11.1]
		最大荷重時の伸び	%	120
		破壊時の伸び	%	125
	-10°C	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	83 [8.5]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	113 [11.5]
		最大荷重時の伸び	%	125
		破壊時の伸び	%	130
水浸漬後	標準 (20°C)	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	48 [4.9]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	74 [7.6]
		最大荷重時の伸び	%	210
		破壊時の伸び	%	235

被着体: ガラス

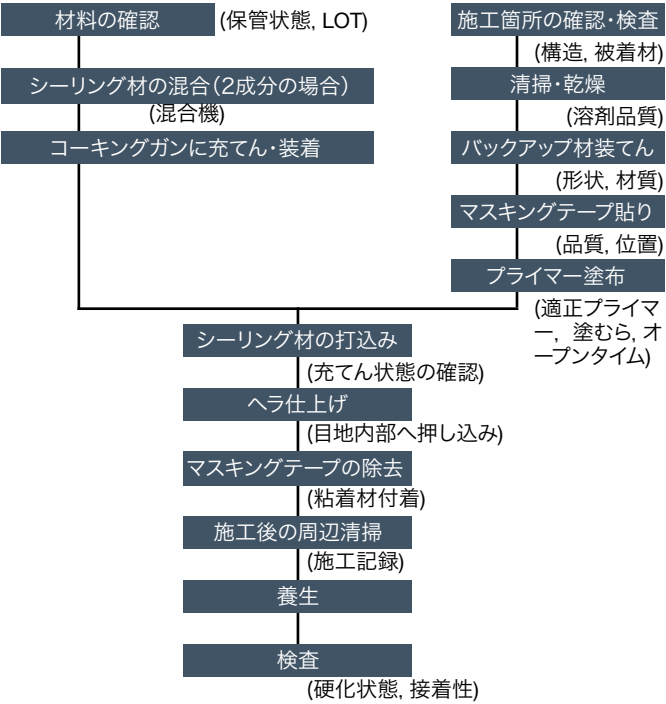
条件	測定温度	項目	単位	DOWSIL™ SE 5007
養生後	標準 (20℃)	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	76 [7.8]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	117 [11.9]
		最大荷重時の伸び	%	155
		破壊時の伸び	%	165
	-10℃	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	79 [8.1]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	118 [12.0]
		最大荷重時の伸び	%	155
		破壊時の伸び	%	165
加熱後	標準 (20℃)	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	80 [8.2]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	113 [11.5]
		最大荷重時の伸び	%	120
		破壊時の伸び	%	125
	-10℃	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	83 [8.5]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	115 [11.7]
		最大荷重時の伸び	%	130
		破壊時の伸び	%	130
水浸漬後	標準 (20℃)	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	46 [4.7]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	74 [7.5]
		最大荷重時の伸び	%	215
		破壊時の伸び	%	235
促進暴露後	標準 (20℃)	50%引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	78 [8.0]
		最大引張応力	N/cm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	118 [12.0]
		最大荷重時の伸び	%	145
		破壊時の伸び	%	155

目地形状の略図



施工手順および施工要領

施工手順は通常のシーリング材の施工と基本的に同じです。



## 施工に対しての留意事項

- 防火設備（防火戸）には不燃性バックアップ材を必ずご使用下さい。
- バックアップ材の装てん：目地寸法交差などを考慮し、かつ装てん後の状態を確認の上、適正な形状の指定された材質のバックアップ材を使用してください。
- 防火戸用シーリング材の目地への充てんでは、ガンの移動速度と、シーリング材の吐出量に注意してください。
- ノズルの先端が目地の内部に入るものを使用し、目地底・隅々に充てんしてください。
- 目地の交差する部分は一方の目地を充てんし、かつ交差部で他方の目地にはみださせるようにします。
- 充てんを中断する場合は斜めにしておいてください。
- 硬化後に打ち継ぐ時は、打ち継ぎ面を溶剤で洗浄して乾燥後に行ってください。（必要に応じてプライマー塗布処理する）
- 現場作業において降雨、降雪、強風時は、作業を中断し、再開については十分に結露、ゴミの付着を調べて関係者と打ち合わせの上行ってください。
- 施工時適宜サンプリングしておき、後日の検査などに活用してください。
- 防火戸用シーリング材の保管は高温・直射日光・降雨を避けてください。

## 梱包単位

品番	品種	梱包単位	包装	荷姿
DOWSIL™ SE 5007 (1成分形)	—	330 ml	カートリッジ	10本入りダンボール箱

## 容器梱包の防火戸用指定シーリング材マーク



[dow.com/ja/construction](http://dow.com/ja/construction) にアクセスしてください。

## 取り扱い上のご注意

石材、タイル、ホーロー、塗装パネルなどの外壁目地に、シリコンシーリング材をご使用の場合は、目地周辺部に汚れが発生することがあります。このような部分へご使用される場合は、事前に確認・検討を行ってください。

- シーリング材、プライマーからは、反応硬化および乾燥時に有機溶剤等が発生します。換気の不十分な場所では、目鼻を刺激したり、吸い込みによる障害の起こる恐れがあります。十分に換気された場所でご使用ください。
- 硬化剤や未硬化のシーリング剤、プライマーが皮膚に付着したときは、すぐに拭き取り、水、石鹸で洗い流してください。
- 目に入った場合は、直ちに流水で（15分以上）洗い流し、医師の診断をお受けください。
- 1成分形カートリッジのエアガン使用の場合、3.0kg f/cm<sup>2</sup>以下でご使用ください。高圧で使用されるとシーリング材が突出したり、カートリッジが破裂する危険があります。
- プライマーは引火性溶剤（消防法危険物第四類）を多量に含んでいます。火気には十分ご注意ください。
- EPTクロロプレンなどのゴム類と接触する場合には、シーリング材が変質（変色、接着不良、軟化）することがあります。シーリング材との適合性をご確認ください。
- オキシム型（DOWSIL™ SE 5007）  
シーリング材の安全・衛生上の注意

- 本品は、硬化中にメチルエチルケトオキシム（MEKO）を発生します。
- MEKOを長期間、大量に吸入させる動物実験では一部に障害が見られます。
- 長時間大量に吸入すると健康を害することがありますので、ご使用時には十分な換気を行ってください。
- 詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシートをご参照ください。
- 安全・衛生上の詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシートをご参照ください。
- その他、ご不明な点は弊社にお問い合わせください。

イメージ: dow\_41959326327

免責事項：使用条件や適用法令は場所によって異なり、また、時の経過により変更される場合がありますので、お客様におかれましては、本書記載の製品及び情報がお客様の使用（用途）に適しているかどうかを判断し、お客様の作業現場及び廃棄について、適用法令の遵守を確実にする責任があります。また、弊社又はその他の者が所有する特許権の侵害がないことを表明・保証するものではありません。本書記載の製品は、ダウが事業展開する特定の地域で販売あるいは使用できない場合があります。紹介された内容に関しては、特定の国での使用（用途）が承認されていない場合があります。「ダウ」又は「弊社」への言及は、特に明記しない限り、お客様に製品を販売するダウの法人を意味します。商品適格性又は特定目的のための適合性についての黙示的保証はすべて明示的に除外され、保証するものではありません。

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標

DOW TORAYの商標のTORAYの部分は、使用許諾のもとで使用している東レ株式会社の商標です。

© 2020 The Dow Chemical Company. All rights reserved.

2000000325

Form No. 63-6368-42-0120 S2D